

# ふれあい

2022

7

No.424

牛久愛和総合病院 広報誌



## 呼吸器内科新任のご挨拶

呼吸器内科 部長 金本 幸司



皆様、はじめまして。2022年4月1日に牛久愛和総合病院呼吸器内科の部長として入職させていただきました。金本（かねもと）幸司と申します。この場をお借りして簡単に呼吸器内科と自己の紹介をさせていただきます。

呼吸器内科は、咳、痰、息切れ、胸痛などの胸の症状でお困りの方、健診で肺の影や肺機能の低下を指摘された方、酸素飽和度の数値が低い方、また病気としてはほとんどの呼吸器疾患（気管支炎、肺炎、胸水貯留、肺癌、中皮腫、間質性肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患…CO<sub>2</sub>PD、抗酸菌症、サルコイドーシス、その他）の診療を行います。

これまで東京医科大学茨城医療センターの先生方のご協力のもと外来診療を行っていましたが、これからは入院診療にも対応いたします。また新たに気管支鏡検査、肺癌の治療も行います。詳しくは当院ホームページの各診療科のご案内にも載せていますのでお時間がありませんでしたらご覧ください。

私は土浦市の出身で1996年に山形大学医学部を卒業後、筑波大学の内科レジデントから呼吸器内科に入局しました。筑波大学呼吸器内科の先生方に基礎からご指導いただき、2002年筑波メデイカルセンター1病院に赴任しました。そこでは緊急・重症の呼吸器疾患を中心に多くの患者様を診させていただきました。心身ともに大変な日々を過ごしましたが、こうして私があるのも当時の鍛錬のおかげと今では感謝しています。そのような経歴でこの度呼吸器内科常勤医のいない当院に入職させていただきました。不安も多かったのですが、医局の先生方はやさしく声をかけてくださ

り、お互い助け合う雰囲気もあって救われました。スタッフはすすんで挨拶して下さるので気持ちいいです。よく働いても協力的です。売店のパンもおいしく気分は上々です。もっと早くここに来ていれればと思ったりしますが、公言できる趣味はないのですが、数年前に出会った『良き人生について』（ウィリアム・B・アーヴァイン著）という本で古代ローマのストア派哲学を知りました。その哲学者あるいは哲学者を実践する人をストアックというので、これまで抱いていたストアックのイメージと違うことに赤面しました。自分も日々喜びを感じ心乱されず生きたいと思うのですが、実践は難しいですね。

私は当院就任にあたり3つの目標を立てました。1つ目は呼吸器内科医として皆様に貢献すること、2つ目は医師・人間として成長すること、そして3つ目は次代の呼吸器内科医を育てることです。この志を胸に抱き働いていきます。牛久初心者🍀ですが、これからどうぞよろしくお願いたします。

診療科の紹介

小児アレルギー外来の紹介

小児科 西野 誠



今年度の4月から小児科でアレルギー外来を開設しました。乳幼児期からのアトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、花粉症、蕁麻疹などの診療を実施しています。

食物アレルギーの診療ではアレルギーの原因を調べるため、またはアレルギーが治ったかどうかを確認するために食物経口負荷試験を実施しています。食物経口負荷試験は病院で医師・看護師の観察のもとで食品を食べてもらい、アレルギー症状を認めるかどうかを確認する検査です。血液検査や皮膚テストが陽性であっても、他の子と同じように給食が食べられることもあるため、必要に応じて食物経口負荷試験を実施することは重要とされています。食物アレルギーの多くは離乳食開始後の乳児期に発症しますが、乳児期発症の食物アレルギーの約8割程度は就学前に治り、多くのお子さんは食物アレルギーがあっても形態や量によって安全に摂取できる範囲があることが分かっています。また、近年ではアレルギーがある食品を安全な範囲内で食べ

ることによって治る時期を早めることが可能であると考えられています。食物の除去が必要なお子さんには園や学校への診断書や生活管理指導表を作成しています。

アレルギー性鼻炎、花粉症の診療ではスギ、ダニ（ハウスダスト）による症状を抑えるお薬の処方に加え、根本的な治療を目的として5歳以上のお子さんには舌下免疫療法を実施しています。また、12歳以上のお子さんの重症スギ花粉症に対してはスギ花粉の飛散時期に定期的な注射薬を投与し、症状の軽減を図ることも可能です。

お子さんがアレルギーによる症状で困っているようでしたら、ぜひ小児アレルギー外来を受診してください。



DMカフェ

糖尿病・代謝内科 部長

河邊 聡子



今年も暑い夏がやってきました。今冬はインフルエンザに注意が必要です。予防接種を検討しましょう。また、戦争もあり社会的に不安定な状況が続いています。物価も高くなりましたね。食べすぎ防止や無駄な廃棄を避けるためにも、食品の買物は計画的にしましょう。ご褒美以外の無駄はなくしていきましょう。血糖もよくなり、家計も助かり一石二鳥です。食品や日用品だけでなく、医薬品や医療機器にもコロナや戦争が影響しています。原材料や部品など輸入に頼るものも多く、物によってなかなか供給が安定しません。同じ薬でも処方のためにメーカーや薬品名が異なるのは、このためです。治療に影響が出ないように、医師も最大限の工夫をしています。たびたび治療中断されてしまうと、最善の治療ができなくなり、重症化すると入院など治療費が高くなります。節約と健康維持を同時に実現しましょう。

Dr趣味リレー

呼吸器内科医部長 金本 幸司

暇な時はガーデニングをしています。ガーデニングというとおしゃれですが、ぶっちゃけ草むしりです。草むしりをしてると、無心・マインドフルネスの状態になれるので、日々の喧騒でポロポロになった心が浄化されてる気がします。妻が植えている苗も雑草と見分けがつかず抜いてしまうことが多々あり、よく怒られます。庭木は冬に寒肥を施し、枝を剪定、春は殺菌剤を噴霧します。夏は枯れないように水やり、晩秋には落ち葉を拾います。また適宜芝刈り、害虫駆除をします。結構手がかりありますが、3月にスイセンから始まり、4月にかけてヒヤシンス、ユキヤナギ、5月にフジ、チューリップ、スズラン、ハナミズキ、バラ、6月にヤマボウシ、アジサイ、7月にかけてヒメシヤラがリレーのように目まぐるしく庭を彩ります。10月はキンモクセイの甘い匂いに誘われ、秋には赤からオレンジの紅葉に目を奪われます。愛用のロックグラスを傾けながらそんな庭を眺めています。

### 春秋園だより



今年の夏は真夏のような暑い日と梅雨のようなじめじめした寒い日が予報されています。服装選びが少し難しいかと思いますが、お出かけがより楽しくなる季節がやってきました。

通所リハビリでは、例年アヤマ見学の外出行事を行っていましたが、コロナ禍の影響により、残念ですが今年も開催を見送りました。

そこで、手作業レクリエーションでは外出気分を味わっていただくよう、茨城の名所をモチーフにした作品に取り組んでみました。まるで「牛久観光アヤマ園」を散策している？気分になれるアヤマの花飾りや、まるで「竜神大吊橋の鯉のぼり祭り」に行ったかのような、可愛い鯉のぼりたちを、利用者様たちで作っていただきました。



手作業レクを楽しみながら、みんなの心ま

で健康にさせてくれる利用者様たちです。



また、運動レクではイベントの時にやっていった、ジエスチャーゲームや双六ゲームを取り入れました。職員がジエスチャーをし、利用者の方が答えたり、チームごとにかれ、利用者の方にサイコロを振ってもらい、止まったマスのお題を行ったりしています。

レクリエーションのあとのおやつには、冷たくさっぱりとした『水羊羹』や『ゼリー』などをお出ししております。

それから、毎月一週間、「お茶会」と題して紅茶、コーヒー、梅昆布茶などをお出しする事もあります。

以前までは、カラオケなども楽しまれていましたが、こちらも感染症対策のため控えています。いろいろな制約がある中ですが、感染対策を怠らず励むとともに、少しでも利用者様にレクリエーションを楽しんでいただけるように、試行錯誤し行っていくしたいと思います。

(春秋園通所リハスタッフ一同)

### 部署紹介

#### A6階病棟

師長 田中 奈津子

今回は、A6階病棟の紹介をさせていただきます。A6階病棟は、牛久愛和総合病院で唯一の療養病棟です。まず一般病棟との違いについてお話ししたいと思います。一般病棟とは、内科や外科、整形外科などで、病気やケガをされた方が入院する、急性期疾患の治療・回復を目的とした病棟です。療養病棟は、その一般病棟での急性期治療を終え、症状が安定したものの、引き続き医療の必要度が高く、通院が困難なため病院での療養が継続的に必要であると判断された慢性疾患の患者さまが入院される病棟です。

そして、一般病棟との違いは、働くスタッフにもあります。それは、一般病棟のスタッフは看護師がそのほとんどを占めますが、療養病棟のスタッフは、看護師と看護補助者が約半



数ずつ配置されていることです。看護師と看護補助者がペアを組み、協働して患者さまの診療の補助や身の回りのケアを行います。そして、季節を感じさせるアクティビティなども取り入れ、入院生活が長期になる患者さまへ、退院後の生活も意識した入院環境を提供することを目指しています。

私達は、患者さまの笑顔や、「ありがとうございます」の言葉を励みに、日々精進していきます。

### 入職者

6月1日付

■健診センター

事務

井澤

香織

病院で勤務するのは初めてなので、事務の経験があるのでお役に立てるよう努めます！

■春秋園

6月1日付

■ケア・サービス部

准看護師

根本

仁子

再度、春秋園にお世話になる事になりました。利用者様一人一人に寄り添った看護をしたいと思っています。

6月16日付

■通所リハビリ

ドライバー

中根

透

患者さんの送迎を行います。安全・快適な運転を心掛けます。

# 春秋園紹介

主任 國府田 泉

## うつく愛和訪問看護ステーションについて

訪問看護は、病气や障害を持った方が住み慣れた場所で自分らしく生活が送れるよう、看護師が訪問し看護を提供するサービスです。

訪問看護を利用できる方は、かかりつけ医師が訪問看護を必要と認めた方で、介護保険または医療保険でサービスを受けることができます。

うつく愛和訪問看護ステーションは、春秋園内1階にステーションがあります。

病状の観察・医療処置（点滴、カテーテル管理など）、医療機器管理（在宅酸素、人工呼吸器など）・介護相談・認知症や精神疾患ケア・ターミナルケア（自宅での看取り）を行っています。利用の相談は、お気軽に連絡ください。24時間・365日安心を支えるサービスを目指し、今日も看護をお届けいたします！



### 編集だより

今年は梅雨明けが早く、暑い夏が予想されているようです。寒暖の差がある初夏から本格的な夏へと季節が変化します。季節の変わり目ですので、体調管理には注意をしましょう。

(Y・A)

### 病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様へ最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

### 病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

### 施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



### 診療科目

#### 【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

#### 【専門外来】

内 科（禁煙外来）  
 整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）  
 小 児 科（小児循環器、小児心理、小児免疫）  
 皮 膚 科（レーザー外来）  
 外 科（下肢静脈瘤外来）  
 ストーマ外来  
 そけいヘルニア専門外来  
 透析外来  
 内視鏡検査  
 検診検査（乳がん検診）

日本医療機能評価機構認定病院  
 医療法人社団 常仁会

救急 24時間

## 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
 Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
 ホームページ <http://www.jojinkai.com>

### 【関連施設】

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

